

# 環境・社会報告書 2010



# 環境・社会報告書 2010 目次

ごあいさつ	2
事業概要	3
会社概要	5
拠点地図	6
企業理念、企業行動基準	7
内部統制システム	8

## 環境

環境への取り組み	9
環境負荷フローチャート	10
環境マネジメント	11
地球温暖化防止への取り組み	15
環境配慮商品の開発	17
環境負荷低減への取り組み	19
化学物質の管理	21
環境会計	23

## 社会

株主・投資家の皆様とともに	24
お客様とともに	25
社会とともに	27
労働安全衛生への取り組み	28
従業員とともに	29
地域社会とともに	31
保安防災への取り組み	32

## データ集

サイトレポート	33
---------	----

### 編集方針

2003年度に「環境報告書」を発行して以来、環境に関する取り組みを中心に報告してきましたが、2006年度より「環境・社会報告書」として社会性に関する報告を含めました。

本報告書は、ステークホルダーの皆さまに対して、「経済」「環境」「社会」などの全ての観点から当社グループのさまざまな取り組みについてご紹介するとともに、当社グループの従業員へのメッセージとして製作しています。

2010年版の特徴は次の通りです。

- ・文字を大きくし、読みやすくしました。
- ・海外拠点の環境マネジメント活動について紹介しました。
- ・社会性報告の内容充実にも努めました。

#### ●対象期間

2009年4月1日～2010年3月31日

※ただし活動については、一部2010年度を含みます。

#### ●対象範囲

環境マネジメントについてはハリマ化成単体(本社、研究所、7工場、営業所)および子会社のハリマエムアイディについて記載しています。

環境パフォーマンスデータは、ハリマ化成単体および子会社のハリマエムアイディ、セブンリバー、ハリマ化成商事について記載しています。

会社名	事業内容
ハリマエムアイディ株式会社	トール油製品の製造販売
株式会社セブンリバー	業務用洗剤などの製造販売
ハリマ化成商事株式会社	倉庫業務、不動産賃貸業

#### ●参考にしたガイドライン

環境省の「環境報告書ガイドライン(2007年度版)」

#### ●次回発行予定

2011年8月



代表取締役社長  
長谷川 吉弘

ハリマ化成は、「自然の恵みを暮らしに活かす」を基本理念とし、自然環境に負荷をかけない環境にやさしいものづくりを実践してまいりました。一人ひとりが環境方針に基づき環境保全活動を積極的に推進し、社会的企業価値の向上をめざして取り組んでいます。

昨年度のがわ国経済は、2009年3月を底に最悪の時期は脱したものの、円高、デフレ、高失業率などマイナス要因も依然として残り、厳しい状況でした。2010年度も経済環境は引き続き厳しい状況が続きますが、社会の動きや業界、ユーザーニーズの変化をいち早く察知して、機敏に対応することによって企業としての成長をめざすとともに社会から信頼される企業をめざします。

昨今の世界にまたがる環境課題として、地球温暖化問題や循環型社会の形成などがあります。当社は、創業以来、化石燃料の代替として、CO<sub>2</sub>の排出がゼロとみなされるバイオマス（トール油蒸留時に得られる副産物）を燃料として利用し、地球温暖化防止に寄与してきました。2005年度には、加古川製造所内にバイオマスを燃料とした発電設備を稼働させ、加古川製造所の消費電力をバイオマス発電で賄うと同時に、余剰電力を販売することによって、CO<sub>2</sub>排出量の削減に大きく貢献しています。2009年度は、重油から天然ガスへの燃料転換や省エネルギーなどに積極的に取り組み、CO<sub>2</sub>排出量は2008年度比11%削減を達成することができました。また、循環型社会の形成では、廃棄物の埋立量を削減する活動を推し進め、埋立量をゼロにする完全ゼロエミッションに近づくことができました。

21世紀の科学技術のキーワードは「環境」「ナノテクノロジー」「エネルギー」と言われています。当社は、わが国で唯一のトールロジン（松材よりクラフトパルプを製造する際に副生する粗トール油からの蒸留により得られるロジン）メーカーとしての特徴を活かした事業展開をしてまいりましたが、昨年度、中国においてガムロジン（松の幹に傷をつけ分泌する生松脂を採取し、蒸留して得られるロジン）の生産事業を取得したことで、トールロジンとガムロジンの両方を生産、供給できる体制が整いました。バイオマスであるこれらを原料とした当社の環境配慮製品の優位性と機能性を追求して、独創的な発想と先進的な技術で開発に取り組んでいます。また、自動車・電機・電子産業並びに環境・エネルギー分野のニーズに対応した新製品の開発が重要であると認識して、その開発プロセスと新規事業の育成に向けた活動も強化してまいります。

化学企業としての社会的責任を確実に果たしていくためには、安全と品質への取り組みが最優先課題とし、全社員がコンプライアンスの意識を持って日々の業務に取り組んでいくことが重要だと考えています。これからも社会から信頼され、人と環境にやさしく、社会と共に成長し続ける企業をめざして安全、品質、環境に対する課題を徹底的に見直し、これらのレベルアップに注力してまいります。

今後とも何卒ご支援の程お願い申し上げます。

## 事業概要

# 私たちの暮らしの中にハリマ化成の製品、技術が

ハリマ化成の製品は、暮らしに欠かすことのできないさまざまな製品の素材として使われています。



### ① 塗料用樹脂

カラフルな色で人々の目を楽しませる塗料。仕上がりの美しさはもちろん、環境にやさしい脱有機溶剤化を実現した高品質な塗料用樹脂をお届けしています。



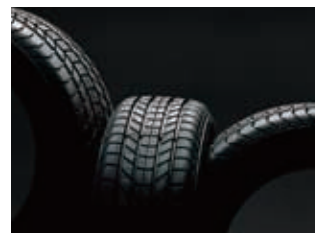
### ② アルミニウム ろう付け材料

自動車に使用されている熱交換器はアルミニウムろう付けが必要です。ハリマ化成はブリコート法<sup>※1</sup>で新しいろう付け材料を開発しました。これにより熱交換器は軽量化され燃費が向上し、CO<sub>2</sub>の削減にも貢献しています。



### ③ 合成ゴム用乳化剤

自動車タイヤなどのSBR<sup>※2</sup>という合成ゴムの製造工程に欠かせない乳化剤。日本の自動車のタイヤの半数、2本に1本にはハリマ化成の製品が活かされています。



### ④ 製紙用薬品

インキのにじみを防ぐサイズ剤、紙の強度を向上させる紙力増強剤、印刷適性を高めるコーティング剤など、幅広い種類の製紙用薬品を製造しています。





# 活かされています。



## 5 印刷インキ用樹脂

環境にやさしく、印刷を美しく仕上げ、速乾性により印刷スピードをアップさせる印刷インキ用樹脂の製造で高度情報化社会に貢献しています。



## 7 接着用樹脂

接着剤の粘着力をアップする粘着付与剤。環境にやさしく、ポリエチレンなどのプラスチックにも抜群の粘着性を発揮するロジン系粘着付与剤を提供しています。



## 6 電子材料

電子材料の分野では“クリーン & ファイン”をコンセプトに省資源、省エネルギー、自然環境との調和をめざした製品を開発しています。



※1 プリコート法:熱交換器を組み立てる際、あらかじめ接合部材にろう付け材料を塗布し、続いて加熱処理を施すことで接合する工法のこと。  
※2 SBR:スチレン・ブタジエンゴム (Styrene-Butadiene Rubber) は代表的な合成ゴムであり、耐熱性、耐摩耗性、耐老化性、機械強度などに優れているため、自動車用タイヤ材として多く使用されています。

# 会社概要

社名	ハリマ化成株式会社
設立	1947年11月18日
資本金	100億1,295万円 (2010年3月31日現在)
本店	兵庫県加古川市野口町水足671-4
大阪本社	大阪市中央区今橋4丁目4番7号
東京本社	東京都中央区日本橋3丁目8番4号
従業員数	418名(単体)、951名(連結) (2010年3月31日現在)
事業内容	樹脂化成品、製紙用薬品、電子材料 などの製造販売
研究所	中央研究所、筑波研究所
工場	加古川製造所、東京工場 富士工場、茨城工場 北海道工場、仙台工場、四国工場
営業所	東京営業所、大阪営業所 名古屋営業所、九州営業所 富士営業所、北海道営業所 仙台営業所、四国営業所

〈ホームページ〉

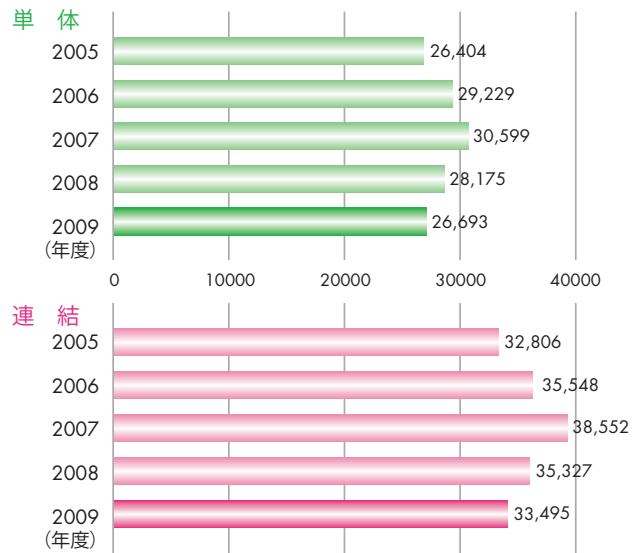
<http://www.harima.co.jp/>



## 財務ハイライト

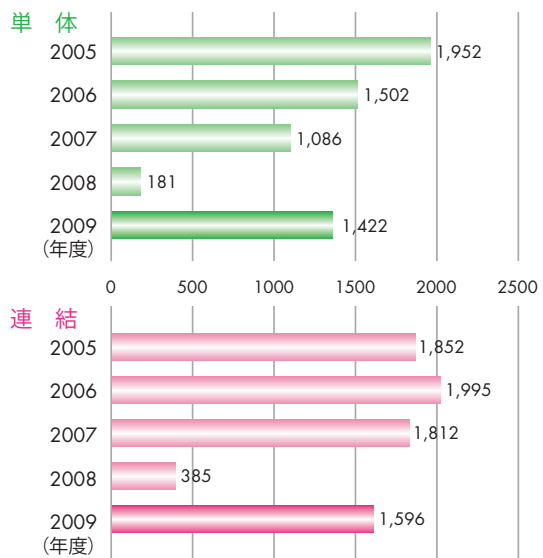
### 売上高

単位: 百万円

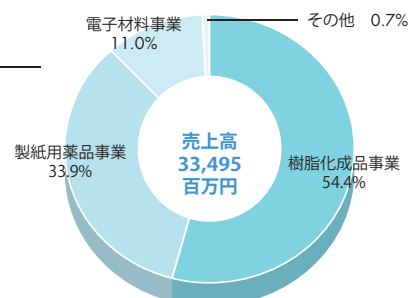


### 経常利益

単位: 百万円



### 2009年度事業別 売上高(連結)の状況



# 拠点地図

## グローバルに展開するハリマ化成のネットワーク

### 国内拠点

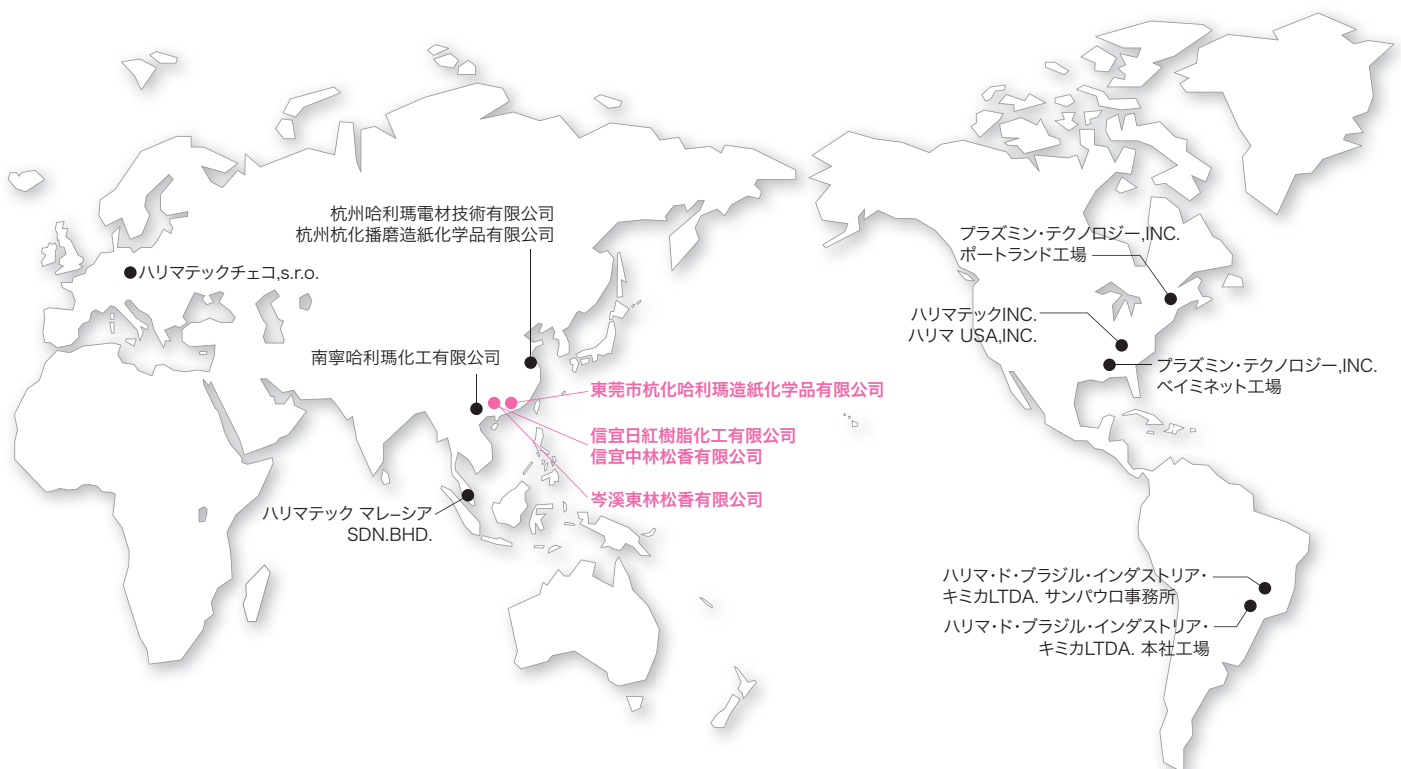


#### ●Topics

2009年度において新たに連結会社となりましたのは次のとおりです。

- ハリマ化成ポリマー株式会社
- 株式会社日本フィラーメタルズ
- 信宜日紅樹脂化工有限公司
- 信宜中林松香有限公司
- 岑溪東林松香有限公司
- 東莞市杭化哈利瑪造紙化学品有限公司

### 海外拠点



# 企業理念、企業行動基準

## ■ 企業理念

わたしたちは、自然の恵みを暮らしに活かす企業です。  
わたしたちは、潤いのある豊かな社会の創造を使命に  
人と技術を大切にするグローバルカンパニーを目指します。  
わたしたちは、理解し、協力し、心から信頼し合うこと  
そして知的で感性豊かなチャレンジャーであることを行動の基本とします。  
わたしたちの心は、YES. ナンバー 1

## ■ 企業行動基準

この企業行動基準は、ハリマ化成がその企業理念のもとで事業活動を行っていく上で、会社および役員、社員が遵守する行動の基準を定めるものである。

ハリマ化成およびその役員、社員は、以下に定める基準の精神を理解し、これを遵守する。役員は、この基準遵守の実現が自らの重要な役割であることを認識し、率先垂範の上、関係者への周知徹底と社内体制の整備を図る。また、役員は、この基準に違反する事態が発生したときには、自らの責任で問題解決にあたり、原因究明、改善を図り、再発を防止する。

1. わたしたちは、「自然の恵みを暮らしに活かす」を基本とし、人と技術を大切にする研究開発を通じて、豊かな社会の創造に寄与することを目指します。
2. わたしたちは、社会にとって有益で優れた商品を生産、提供することにより社会に貢献すると共に、事業活動のすべての面で商品の安全性に配慮し、行動します。
3. わたしたちは、その調達活動および販売活動において、全ての取引先に誠意をもって接すると共に、公正かつ適正な取引条件を設定しそれを遵守します。健全な取引慣行を逸脱する行為、社会通念にもとる行為は行いません。
4. わたしたちは、営業秘密を含む知的財産の重要性を認識し、他者の権利を尊重すると共に、自らの権利を守り、防衛します。
5. わたしたちは、事業活動に必要な資源やエネルギーはもちろんのこと、さまざまな点でこの地球から恩恵を受けており、この地球環境をよりよい状態に保つための自主的、積極的な活動を行います。
6. わたしたちは、株主をはじめ広く社会とのコミュニケーションを行い、社会にとって有用な情報を積極的かつ公平に開示し、透明性の高い開かれた企業として信頼を得るよう努力します。
7. わたしたちは、事業を通じての社会貢献はもとより、社会を構成する良き企業市民として社会貢献活動や文化、教育活動とその支援を積極的に行います。
8. わたしたちは、その事業活動にあたって法令、その他の社会的規範を遵守し、公明かつ公正に行動します。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保つと共に、社会の秩序や企業の健全な活動に悪影響を与える個人、団体に関わるなど、社会良識に反する行為は行いません。
9. わたしたちは、海外進出に際し、国際ルールや法令の遵守はもとより、習慣および文化を尊重し、進出先の国家、地域の発展に積極的に貢献します。
10. わたしたちは、社員一人ひとりの人格と個性を尊重し、ゆとりと豊かさを実現できる環境整備に努めます。また、安全で働きやすい職場環境確保に努めます。



# 内部統制システム

## ■ コンプライアンス（法令順守）

当社では、企業理念に基づき、企業としての存在価値を社会からより評価されるために、法令を順守することはもちろんのこと、社会の信頼に応える高い倫理観をもって企業活動に取り組んでいます。

### ● 内部統制システム及びリスク管理体制の整備状況

当社の企業理念である「自然の恵みをくらしに活かす」を実践するための事業活動を行う上で、役員および社員を対象に「企業行動基準」を制定して、その順守を図っています。

「企業行動基準」の順守、コンプライアンスの徹底は、取締役を中心に構成する企業倫理委員会で検討・推進され、当社を取り巻くリスクについては、リスクマネジメント委員会で、定期的に検討・検証されると同時に、2006年9月に設置した内部統制室がコンプライアンスならびに「企業行動基準」の順守状況を監視しています。また、内部統制室は、各部門のリスクを日常的に監視、統括

できる体制を整備しています。社員には、基本動作の徹底、リスク管理の勉強会など教育、啓蒙活動を日常的に実施しています。2009年7月からは、eラーニングシステムを導入し、コンプライアンスに関する教育体制をより一層強化しています。監査室では、各部門、各拠点におけるコンプライアンスおよびリスク管理の状況を重要な監査項目として業務監査を実施しながら、関係部門と連携して、コンプライアンスの徹底ならびにリスクの回避・予防・管理をしています。重要な法務問題に関しては、顧問弁護士に適宜相談して対応しています。

### ● 内部監査、監査役監査および会計監査の相互連携

内部監査につきましては、監査室が会計監査および業務監査を実施しています。監査室と監査役との連携を図るため、内部監査結果は監査役および監査役会に報告され、コンプライアンスの徹底や業務の改善に反映されており、経営上重要な役割を果たしています。

監査役監査につきましては、現在3名の監査役の内、過半数の2名を社外監査役として、より公正な監査が実施できる体制にしています。また、不測

の事態に備えるために、補欠監査役2名を選任し、万全の体制を整えています。公認会計士監査につきましては、会社法および金融商品取引法の規程に基づき、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けており、会計制度の変更などにも速やかに対応できる環境にあります。また、監査法人と監査役会は定期的に情報共有の場を設けており、監査方針や問題点について情報交換を行い相互の連携に努めています。

### ● 個人情報保護体制について

2005年10月に「個人情報保護方針」ならびに「個人情報保護規程」および同関連規程を制定し、個人情報保護管理体制および個人情報の

適切な取扱いなどを定めて、個人情報保護法に対応できる体制を整備しています。

### ● コンプライアンス外部通報・相談窓口の設置

当社では、企業倫理向上のため、「企業行動基準」、「社内相談窓口」を設けています。また、企業活動における違法行為の予防および万一の発生に対する迅速かつ適切な対応をより一層強化

する目的で、2007年12月に「コンプライアンス外部通報・相談窓口」を開設し、社員が直接社外の弁護士へ通報または相談できる制度を導入しています。